



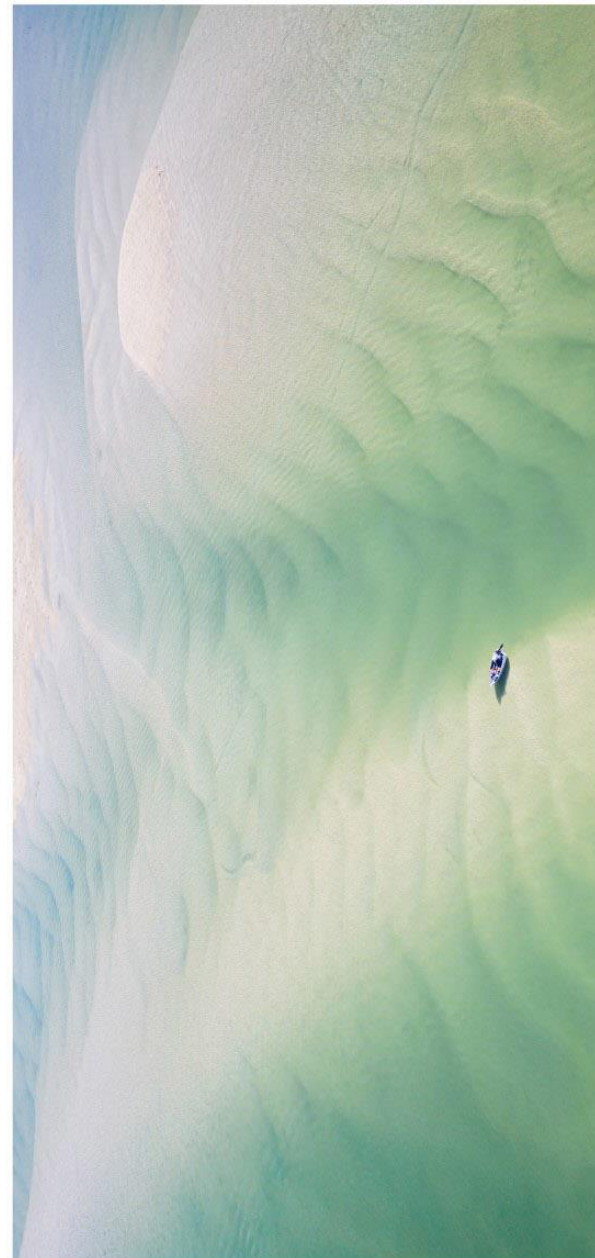
2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

Going Beyond 2027 ～変革と完遂～

積水化成品工業株式会社

(プライム市場 証券コード：4228)

2025年11月7日



目次

- 1 2025年度上期 決算概要
- 2 2025年度通期 業績見通し
- 3 中長期経営戦略の進捗

目次

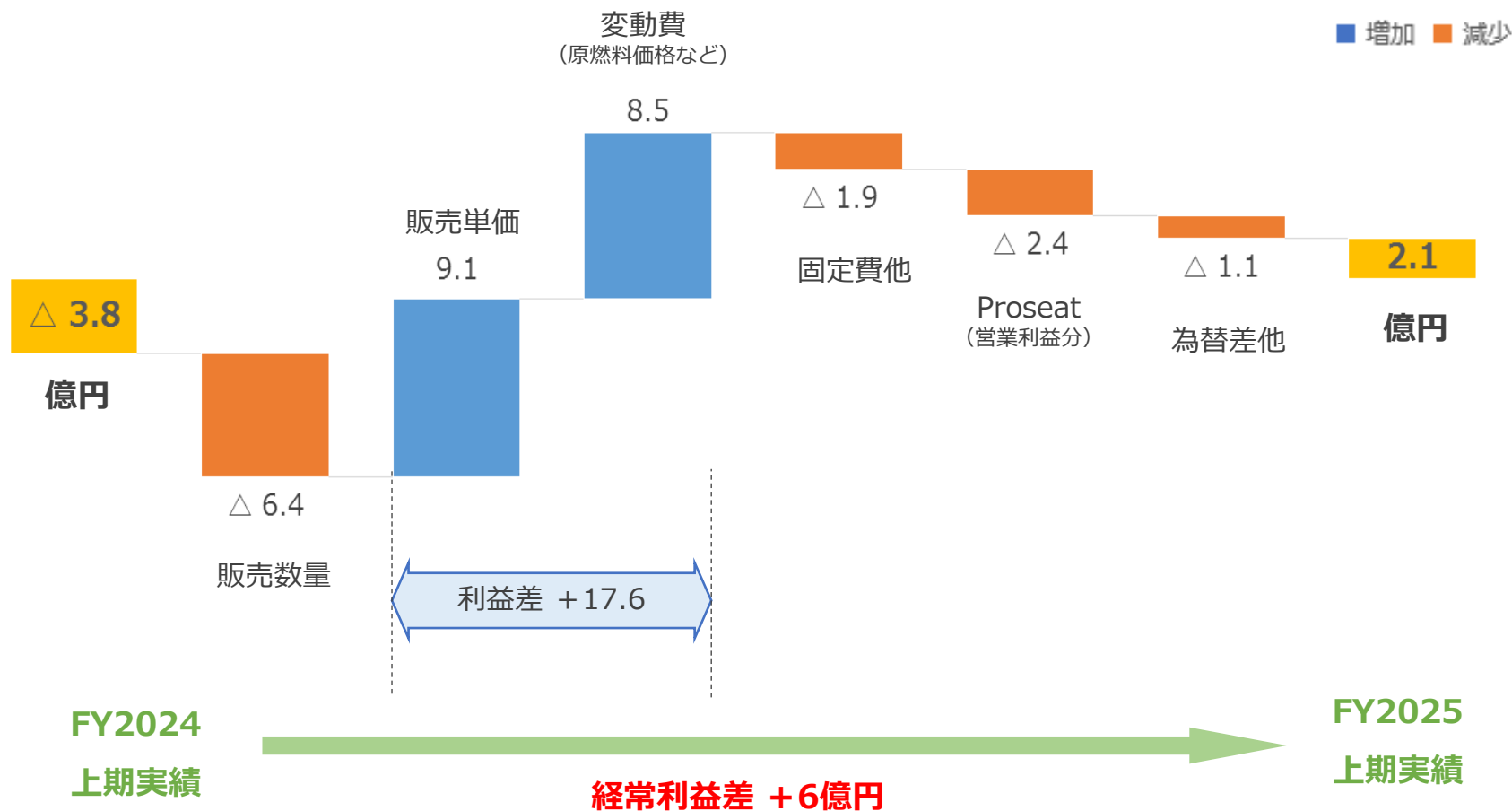
- 1 2025年度上期 決算概要
- 2 2025年度通期 業績見通し
- 3 中長期経営戦略の進捗

2025年度上期 決算概要

(単位：億円)	FY2024 1H	FY2025 1H		前年比 (YoY)		計画比 (vs Plan)	
	Result	Plan (2025.5.9)	Result				
	(A)	(B)	(D)	(D)-(A)		(D)-(B)	
売上高	690.6	650.0	657.2	△33.5	95%	+7.2	101%
営業利益 ＜営業利益率＞	0.8 <0.1%>	2.0 <0.3%>	7.8 <1.2%>	+7.0	1000%	+5.8	390%
経常利益	△ 3.8	0.0	2.1	+5.9	－	+2.1	－
親会社株主に帰属する 純利益	△ 3.7	△ 15.0	△ 34.7	△31.0	－	△19.7	－

- **売上高**： 欧州Proseat事業の販売減や北東アジアのピオセラン販売減で、**前年比「減収」**も、期初計画想定並みで着地（**計画比101%**）
- **営業利益**： コスト削減や販売価格の是正などにより、**前年比・計画比ともに「増益」**
- **経常利益**： 営業増益を受け、**前年比・計画比ともに「増益」**
- **純利益**： Proseat事業の特別損失計上（△39.5億円）により、**前年比・計画比ともに「減益」**

2025年度上期 経常利益増減（前年比）



2025年度上期 インダストリー分野

(単位：億円)	FY2024 1H	FY2025 1H		前年比 (YoY)		計画比 (vs Plan)	
	Result	Plan (2025.5.9)	Result	(D)-(A)		(D)-(B)	
	(A)	(B)	(D)				
売 上 高	432.3	390.0	392.6	△39.7	91%	+2.6	101%
(基 盤 事 業)	221.1	210.0	206.0	△15.1	93%	△4.0	98%
(Proseat事業)	211.2	180.0	186.6	△24.6	88%	+6.6	104%
営 業 利 益	8.2	3.0	6.6	△1.6	81%	+3.6	221%
<営業利益率>	<1.9%>	<0.8%>	<1.7%>				
(基 盤 事 業)	15.7	15.0	16.5	+0.8	105%	+1.5	110%
(Proseat事業)	△ 7.5	△12.0	△9.8	△2.4	—	+2.2	—

● 売 上 高 ： 前年比「減収」、計画比「増収」

- ・ 基盤事業：自動車部材や高機能ゲル素材は好調も、梱包材の販売減少で、前年比「減収」
- ・ Proseat：欧州自動車市場低迷による販売減で、前年比「減収」

● 営 業 利 益 ： 前年比「減益」、計画比「増益」

- ・ 基盤事業：高収益製品の販売増加により、前年比・計画比ともに「増益」
- ・ Proseat：前期の減損処理により計画比「増益」も、販売減を受け前年比では「赤字拡大」

2025年度上期 ヒューマンライフ分野

(単位：億円)	FY2024 1H	2025年度 1H		前年比 (YoY)		計画比 (vs Plan)	
	Result	Plan (2025.5.9)	Result				
	(A)	(B)	(D)	(D)-(A)	増減率	(D)-(B)	増減率
売上高	258.4	260.0	264.6	+6.2	102%	+4.6	102%
営業利益	6.5	14.0	16.3	+9.8	249%	+2.3	117%
<営業利益率>	<2.5%>	<5.4%>	<6.2%>				

● 売上高：前年比・計画比ともに「増収」

- ・食領域（シート）：猛暑で耐熱容器は低調も、納豆や即席麺容器用途が好調で、前年比「増収」
- （ビーズ）：ビーズ全体の需要量減少が続き、前年比「減収」
- ・住環境・エネルギー：工事物件の出荷が順調となり、前年比「増収」

● 営業利益：前年比・計画比ともに「増益」

- ・コスト削減や販売価格の是正などにより、前年比「増益」

欧州Proseat事業の譲渡を完了

種別	会社名	所在国	機能	状況	摘要
子会社	Proseat Europe GmbH	ドイツ	HD会社		SKP Germany GmbHに商号変更予定
孫会社	Proseat GmbH & Co.KG	ドイツ	本社・生産	Brose Sitech Foam への譲渡を「完了」 (2025年9月1日)	
	Proseat Verwaltung GmbH	ドイツ	資産管理		
	Proseat Schwarzheide GmbH	ドイツ	生産		
	Proseat Sp.Z.o.o	ポーランド	生産		
	Proseat Mlada Boleslay s.r.o	チェコ	生産		
	Proseat Foam Manufacturing S.L.U	スペイン	生産		
	Proseat SAS	フランス	生産	清算手続中	SKP France SASに商号変更予定
	Proseat LLP	英国	生産		SKGP UK LLPに商号変更予定

- Proseatグループ6社の「Brose Sitech Foam GmbH」への譲渡を「完了」
- FY25下期以降、上記6社が連結対象外となるため、今後は営業利益への影響なし
- Proseat Europe GmbHおよび清算手続中の2社は、譲渡契約によりProseatの名称を使用できなくなったことにより、商号を変更予定

2025年度上期 財政状況

(単位：億円)	2024年度末	2025年上期末	前期対比	
総資産	1,362	1,239	△ 123	
純資産	496	451	△ 45	
自己資本比率	35.9%	35.8%	△ 0.1%	
1株あたり純資産	1,075円86銭	973円66銭	△102円20銭	
(参考) 自己資本	489	443	△ 45	
現金及び預金	95	92	△ 3	
短期借入金	224	102	△ 122	※
長期借入金	96	248	+ 152	※
社 債	70	70	± 0	
有利子負債	390	420	+ 30	
D/Eレシオ (倍)	0.88	0.95	+ 0.07	

注) 上記の有利子負債は、借入金と社債の合算値です。

※ Proseat事業譲渡に伴う既存外貨借入金の返済資金を、シンジケートローンで調達しました
(2025年8月25日開示)

なお、2027年度末に向け、有利子負債を2024年度末対比で20%削減する予定です

目次

- 1 2025年度上期 決算概要
- 2 2025年度通期 業績見通し**
- 3 中長期経営戦略の進捗

FY2025 通期業績見通し

(単位：億円)	FY2024	FY2025			YoY	
	Result (A)	1H Result (B)	2H Forecast (C)	Forecast (D)	(D)-(A)	
売上高	1,370.7	657.2	482.8	1,140.0	△ 230.7	83%
営業利益 ＜営業利益率＞	6.4 ＜0.5%＞	7.8 ＜1.2%＞	15.7 ＜3.3%＞	23.5 ＜2.1%＞	+ 17.1	367%
経常利益	1.0	2.1	13.9	16.0	+ 15.0	1553%
親会社株主に帰属する 純利益	△ 62.8	△ 34.7	34.7	0.0	+ 62.8	－

● 前年比「減収・増益」

● 営業利益・経常利益は、従来予想から「上方修正」※2025年10月30日公表

・営業利益 +5.5億（18.0億 → 23.5億）・経常利益 +2.0億円（14.0億円 → 16.0億円）

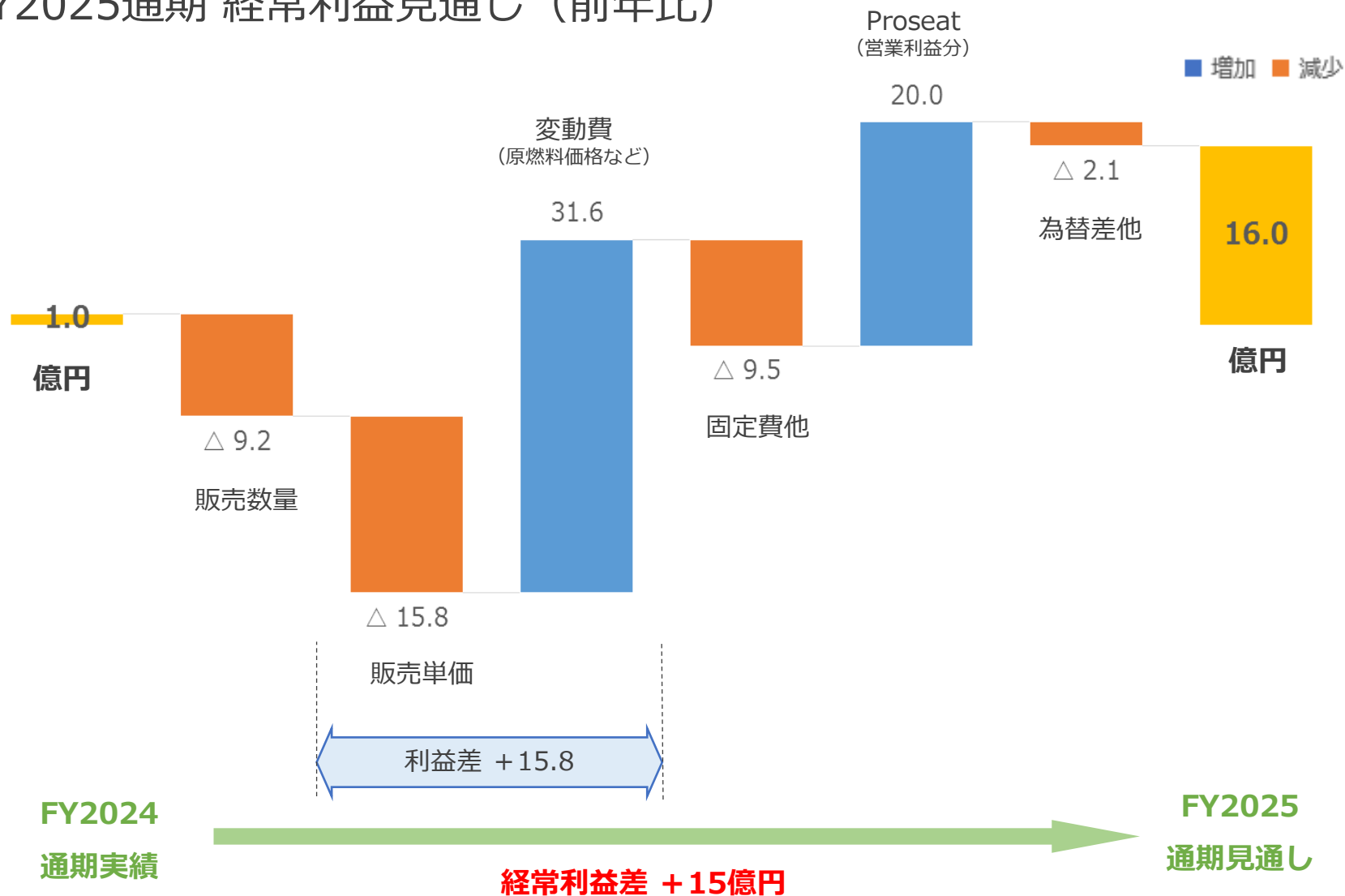
● 当期純利益は、従来予想を「据え置き」

・低採算事業や保有資産の見直しによる収益で上期の△34.7億円分を下期にカバーし、従来予想通り

FY2025 通期業績見通し

(単位：億円)	FY2024 Result			FY2025 Forecast			YoY	
	1H Result	2H Result	(A)	1H Result	2H Forecast	(B)	(B) - (A)	
売上高	691	680	1,371	657	483	1,140	△231	83%
インダストリー	432	389	821	393	217	610	△211	74%
ヒューマンライフ	258	291	550	265	265	530	△20	96%
営業利益	1	6	6	8	16	24	+17	367%
(営業利益率)	0.1%	0.8%	0.5%	1.2%	3.2%	2.1%		
インダストリー	8	△ 4	4	7	18	25	+20	606%
ヒューマンライフ	7	24	31	16	12	28	△3	91%
本社コスト	△ 14	△ 15	△ 29	△ 15	△ 14	△ 29	△0	—

FY2025通期 経常利益見通し（前年比）



FY2025通期 業績見通し（インダストリー分野）

(単位：億円)	FY2024 Result (A)	FY2025 Forecast			YoY	
		1H Result	2H Forecast	(B)	(B) - (A)	
売上高	821	393	217	610	△211	74%
(基盤事業)	436	206	217	423	△12	97%
(Proseat事業)	385	187	N/A	187	△199	48%
営業利益	4	7	18	25	+20	608%
(基盤事業)	34	16	18	34	+0	101%
(Proseat事業)	△ 30	△ 10	N/A	△ 10	+20	—

Proseat事業譲渡により「減収・増益」の見通し

FY2025通期 業績見通し（インダストリー分野・基盤事業）

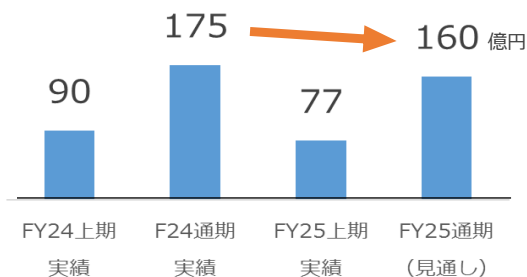
(単位：億円)	FY2024 Result (A)	FY2025			YoY	
		1H Result	2H Forecast	Forecast (B)	(B) - (A)	
売上高	436	206	217	423	△12	97%
営業利益	34	16	18	34	+0	101%
<営業利益率>	<7.8%>	<8.0%>	<8.2%>	<8.1%>	—	—

売上高・営業利益ともに、ほぼ「前年並み」の見通し

エレクトロニクス

梱包材は「減」
ポリマー微粒子は「増」

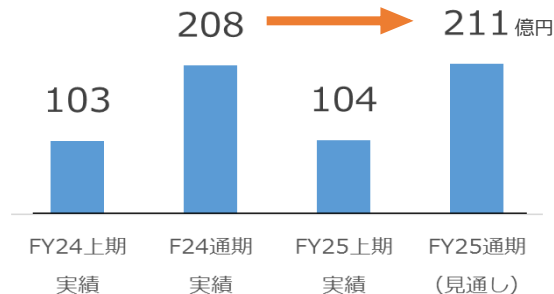
トータルでは「減」



モビリティ（基盤事業分）

梱包材は「減」
自動車部材は「増」

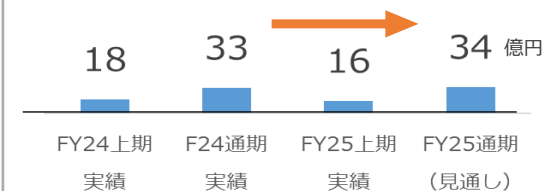
トータルでは「前年並み」



医療・健康

シューズ部材は「減」
高機能ゲル素材は「増」

トータルでは「前年並み」

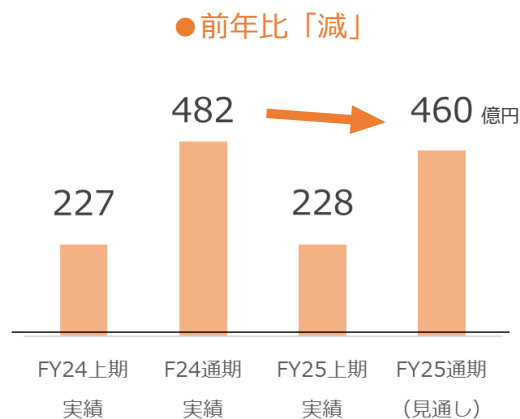


FY2025通期 業績見通し（ヒューマンライフ分野）

(単位：億円)	FY2024 Result (A)	FY2025			YoY	
		1H Result	2H Forecast	Forecast (B)	(B) - (A)	
売上高	550	265	265	530	△20	96%
営業利益 ＜営業利益率＞	31 ＜5.6%＞	16 ＜6.2%＞	12 ＜4.4%＞	28 ＜5.3%＞	△3 －	91% －

EPSビーズ市場は低調継続、価格転嫁効果の希薄化も加わり、「減収・減益」

食



シート（数量）

業界は「微減」、当社トータルは「微増」

- 食品トレー 前年比 「前年並み」
- カップ麺・丼容器 " 「微増」
- 折箱弁当容器 " 「微増」

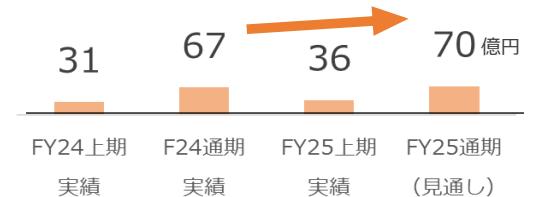
ビーズ（数量）

業界、当社トータルともに「減」

- 水産 前年比 「微増」
- 農産 " 「増」
- 弱電 " 「減」
- 建材土木 " 「減」
- ライフグッズ " 「大幅減」

住環境・エネルギー

●前年比「増」



FY2025 設備投資概要

(単位：億円)	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25		
	Result	Result	Result	Result	Result	Result	1H Plan	1H Result	Forecast
設備投資額	53	54	38	37	51	64	(30)	27	47
減価償却費	61	62	62	57	57	61	(31)	25	51

● 主な設備投資

(FY25 上期実績)

- ・ 北米でのモビリティ事業拡大投資
- ・ ポリマー微粒子プラント制御システム
- ・ シート生産能力向上
- ・ プラント電力効率化設備
- など

(FY25 下期予定)

- ・ ピオセラン生産能力向上設備
- ・ E P S リサイクル精製設備
- ・ フォームコア用研究開発設備
- ・ D X 投資
- など

FY2025 株主還元（予想）

	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25 (予定)
1株あたり当期純利益(円)	51.3	24.9	△ 131.0	10.0	23.9	△ 138.2	—
1株あたり配当(円)	30	21	12	12	13	3	10
配当性向(連結)	59%	85%	—	120%	54%	—	
自己株式取得(百万円)	—	141.5	—	—	—	—	
総還元性向(連結)	59%	97%	—	120%	54%	—	
ROE	3.6%	1.6%	—	0.8%	1.9%	—	
自己株式消却(万株)	—	—	—	—	—	—	

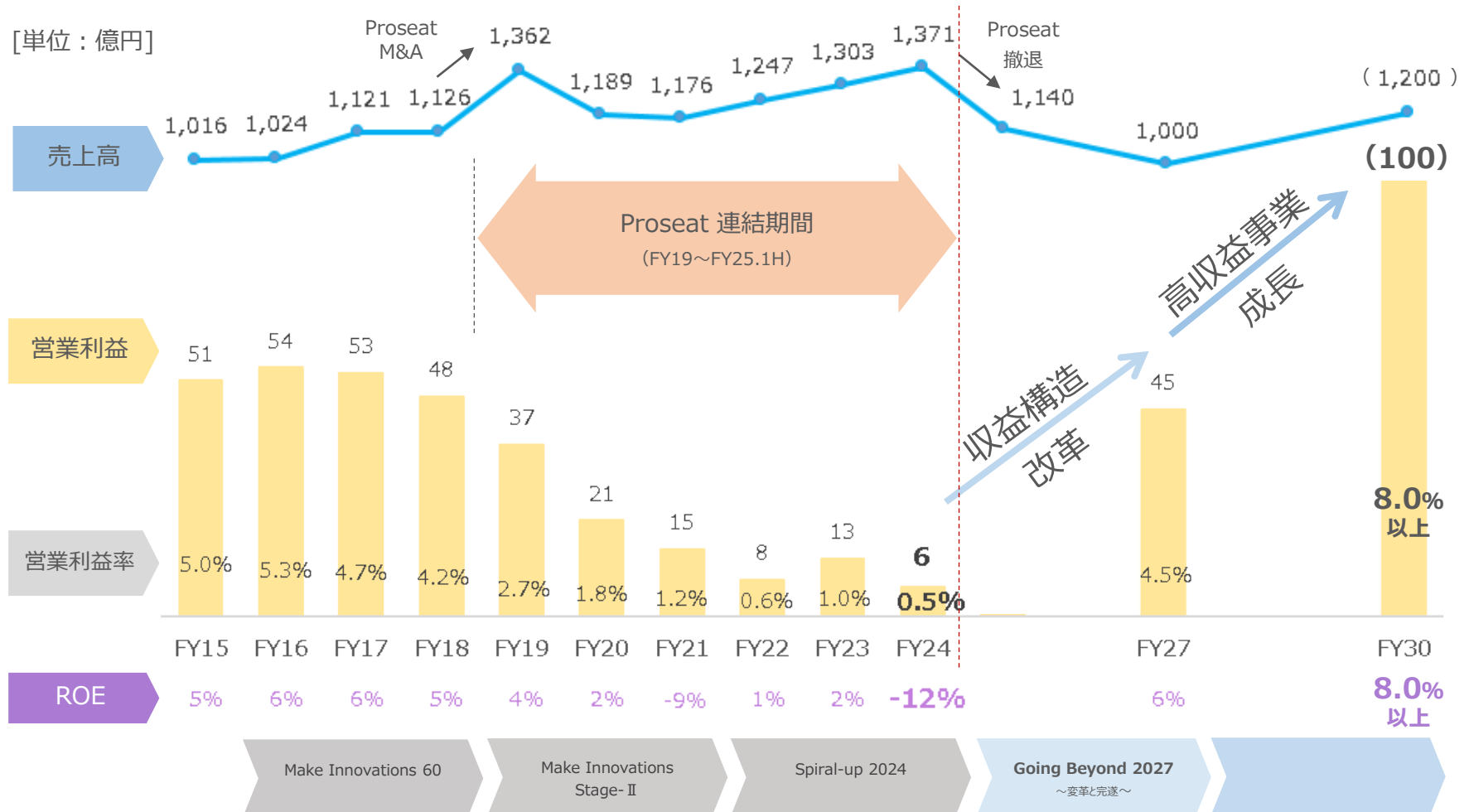
- **配当方針** 連結業績の動向に応じかつ、配当の安定性と内部留保のバランスを総合的に判断
※配当性向 30～40% を目途
- **配当予想** 年間 10円/株（中間 0円、期末 10円）
※期初公表の配当予想からの修正なし

目次

- 1 2025年度上期 決算概要
- 2 2025年度通期 業績見通し
- 3 中長期経営戦略の進捗

中長期経営戦略の概要

収益構造改革と高収益事業成長を完遂し、営業利益率 8 %以上・ROE 8 %以上を早期に実現



業績目標

	Spiral-up 2024	Going Beyond 2027 ～変革と完遂～	Target 2030
	FY24実績	FY27計画	FY30目標
売上高	1,371 億円	1,000 億円	(1,200億円)
営業利益	6 億円	45 億円	(100億円)
		+39億円	(+94億円)
営業利益率	0.5%	4.5%	8.0%以上
経常利益	1 億円	43 億円	—
当期純利益	△ 63 億円	29 億円	—
ROE	△ 12.0%	6.0%	8.0%以上

中期経営戦略の骨子と時間軸



FY30 営業利益100億円（FY24比 +94億円）

中長期経営戦略の進捗状況

Target2030



OProseat事業撤退 FY24比 +30億円

- ・ FY25 +20億 FY25上期に事業譲渡を完了 (FY24 : Δ 30億 $\rightarrow$ FY25 : Δ 10億)
- ・ FY26 +10億 FY25下期以降は営業利益影響がゼロ (FY25 : Δ 10億 $\rightarrow$ FY26 : $\pm$ 0億)

計画通りに「完了」

Oその他 FY24比 + 5億円

- ・ FY25上期 +0.6億 積水化成品関西神戸工場閉鎖
 - ・ FY25下期 +1.4億 低採算拠点の統廃合
 - ・ FY26~27 上記以外の国内外拠点再編、低採算事業撤退
- These items are grouped together with a bracket and result in the following contributions:
- FY25 +2億
 - FY26~27 +3億

計画通りに進行中

中長期経営戦略の進捗状況

Target2030



○ 省力化・効率化 FY24比 +6億円

FY25~27 +3億

FY28~30 +3億



DXによる生産効率向上、生産拠点の最適化など

計画通りに進行中、FY25増益効果は0.7億円を見込む

○ 人員・配置最適化 FY24比 +5億円

FY25~27 +2億

FY28~30 +3億



自動化、改善活動による人員削減など

計画通りに進行中、FY25増益効果は0.2億円を見込む

○ 本社コスト削減 FY24比 +1億円

FY25~27 △2億 本社コストFY24実績=29億、中計FY27見通し=33億 (→ 31億まで削減)

FY28~30 +3億 中長期経営戦略 本社コストFY30目標=28億 を据え置き

計画から前倒しでFY27本社コスト増加分の削減を実行中

中長期経営戦略の進捗状況

Target2030



○ EPSビーズ事業 FY24比 +2億円

- ・ FY25~27 +1億 市場の縮小分をリサイクルEPSビーズの販売増分でカバー
EPS土木工法の業界シェア向上、下水道工事用クッション材拡販で収益性改善
- ・ FY28~30 +1億 生産体制や品種構成の見直しによる収益性改善

市場環境が厳しいなか、足元ではリサイクルEPSビーズの販売を順調に拡大

○ 高機能ゲル事業 FY24比 +5億円

- ・ FY25~27 +3億 既存用途：低周波治療器の採用拡大、新製品オルガノゲル複合品の採用開始
新規用途：予防医療およびヘルスケア分野における、計測／制御電極の採用
- ・ FY28~30 +2億 偏頭痛治療、痛み計測、睡眠の評価など多岐にわたる新規用途での採用拡大

既存領域の拡販と新規領域の展開状況から、想定を上回る増益効果が期待できる



中長期経営戦略の進捗状況

Target2030



○ モビリティ（自動車部材） FY24比 +12億円

- ・ FY25~27 +4億 FY25自動車部材事業は、FY24比で110%伸長の見通し
先行スペックイン物件を確保しており、FY27に向け「成長確実」な状況
（差別化戦略）「ピオセラン2.0」での受注が拡大
（顧客拡大）欧州OEM向け北米量産が開始
（用途拡大）バッテリー周辺部位の量産が開始
- ・ FY28~30 +8億 既存部位：「ピオセラン2.0」更なる受注拡大
新規顧客：欧米系OEM向け受注獲得、北米事業拡大
新規部位：「ST-Eleveat」「ST-Formac」などコア材事業拡大

FY30に向けた高成長は、欧米系OEMのグローバル受注展開とコア材事業の拡大が鍵

中長期経営戦略の進捗状況

Target2030



○ 食（シート事業） FY24比 +8億円

- ・ FY25~27 +3億 「低発泡PSP」 拡販（お客様の品揃え順次拡大に伴う販売増）
「エスレンシートRNW」 拡販（資源循環ニーズの高まりに伴う需要増加）
- ・ FY28~30 +5億 「低発泡PSP」「エスレンシートRNW」の拡販に加え、
現在開発中の新製品「紙容器代替発泡シート※」を市場へ投入

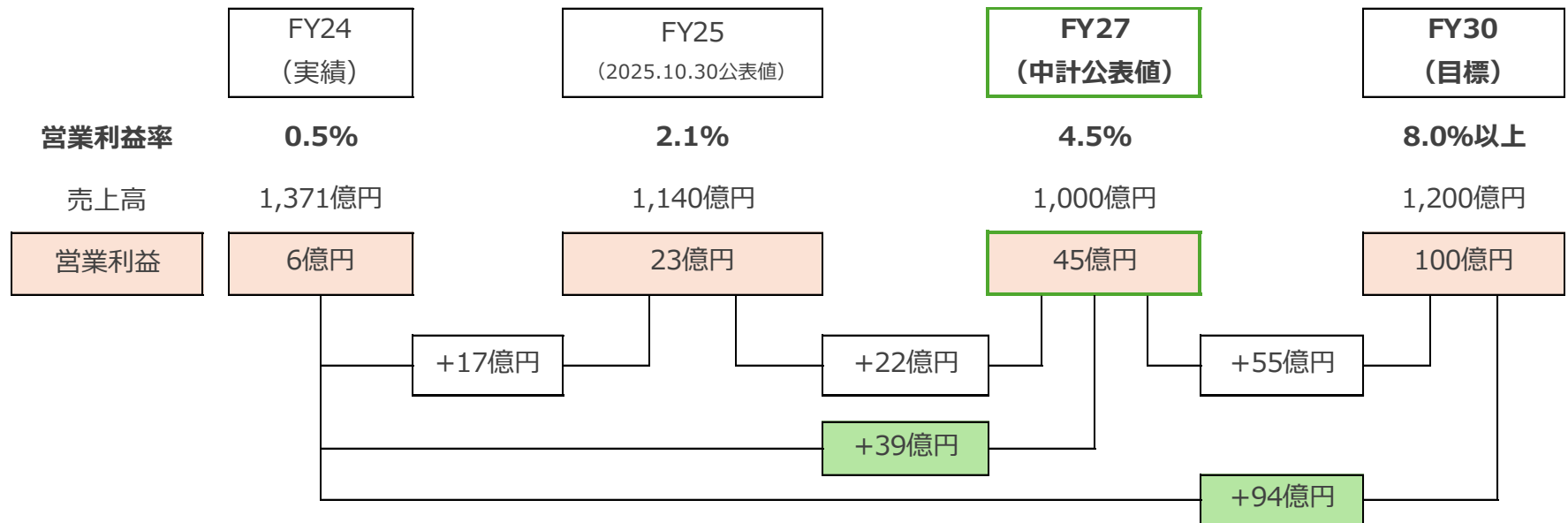
※ 紙容器代替発泡シート（開発中）

これまでに無い技術で深絞り形状を実現する新たな発泡シートを開発中。資源循環も強化しつつ量産を目指す。

製品供給能力や環境貢献製品で競合に対する「圧倒的トップシェア」のポジションを維持しつつ
「新製品による未開拓市場への展開」で高成長を図る

中長期経営戦略の進捗状況

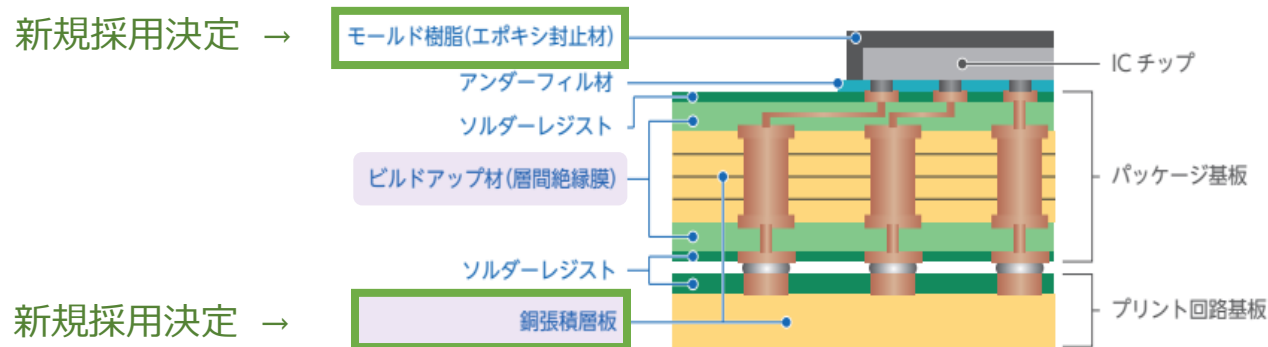
Target2030



- 中長期経営戦略の「スリム化」「合理化」「既存事業の収益改善」「新たな収益源による成長」における足元の収益改善見通しは、中期経営計画のFY27営業利益（45億円）を上回る進捗
- 但し、FY27の業績見通しは、外部環境変化や既存事業におけるマイナスリスクなど、より緻密な精査をしたうえで、2026年3月期決算発表時に公表予定

注力製品（テクポリマー®：低誘電中空ポリマー微粒子）

- ・ 高速通信・高周波信号処理に適した低誘電ポリマー微粒子



採用決定物件

顧 客	用 途	採用理由
半導体封止材メーカー	エポキシ封止材の低誘電化	誘電率（Dk値）の低減 中空形状の維持
プリント基板用材料メーカー	プリント基板向け熱硬化性インキの低誘電化	

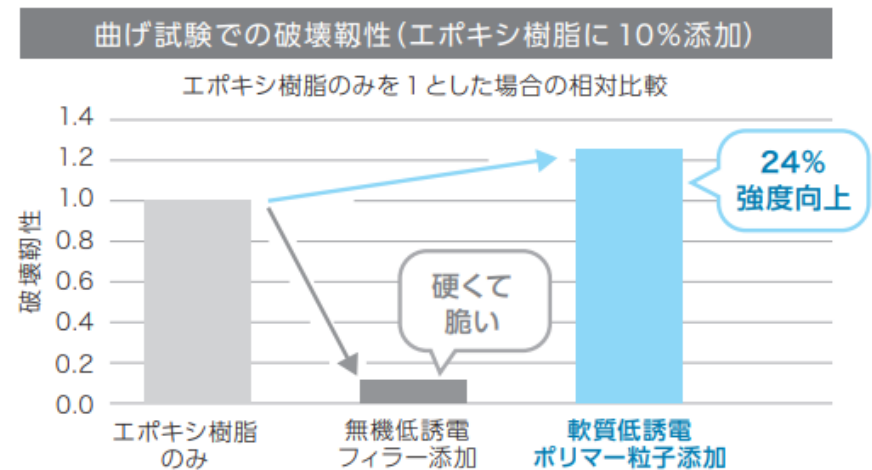
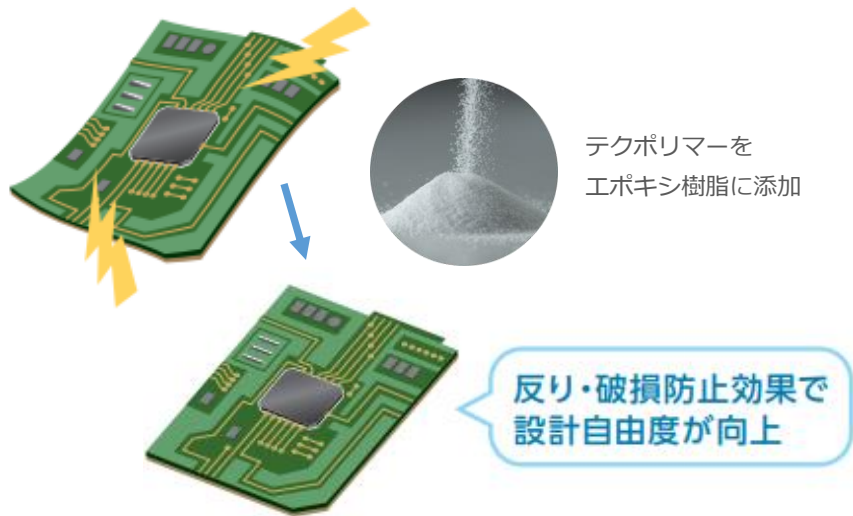
※Dk値とは、材料の比誘電率（Dielectric Constant）を表す略称で、この数値が低いほど信号の伝搬速度が速くなる

半導体・電子材料での新規採用が決定し、FY26-4Q量産販売開始を予定しています

注力新製品（テクポリマー®：低誘電軟質ポリマー微粒子）

- ・ 高速通信・高周波信号処理に適した低誘電ポリマー微粒子に「軟質グレード」を追加
- ・ 従来の無機系低誘電材料がもつ脆性による加工実装での壊れやすさを解決

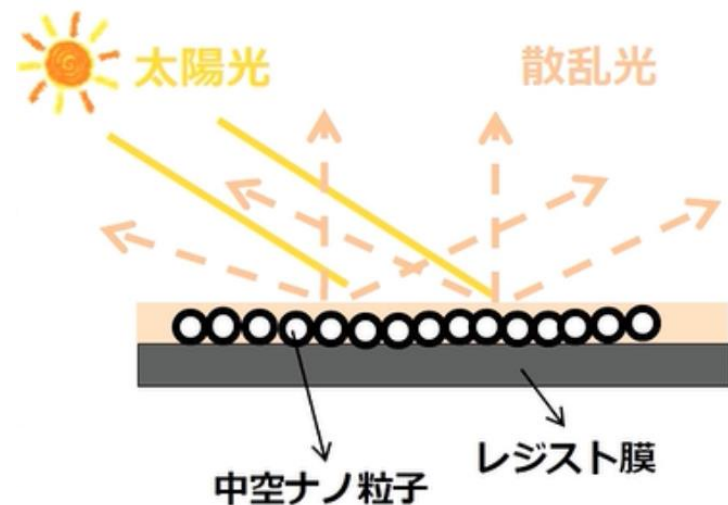
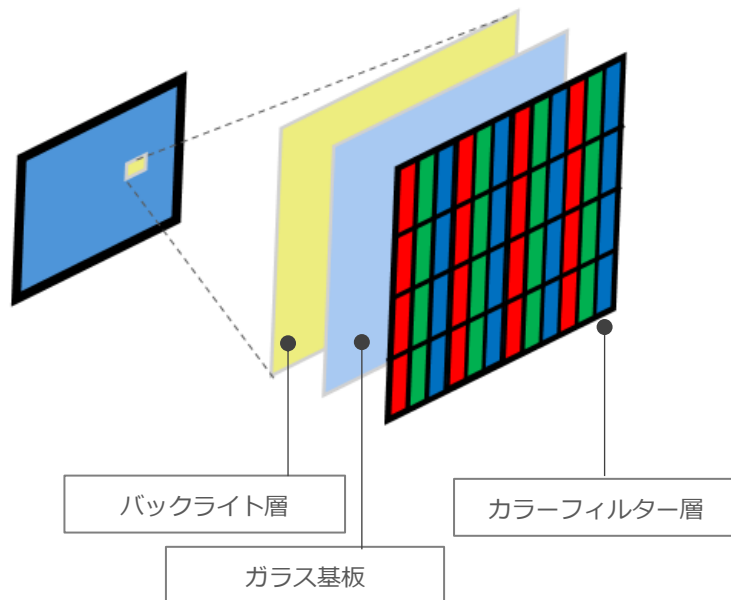
特に、フレキシブル基板・パッケージ基板デバイスや多層基板など、曲げたり重ねたりする工程での“材料の脆さ”の課題解決に有効



粒径制御や表面改質などのカスタマイズ技術が当社の強み
FY28以降の量産に向け、顧客でのテスト・評価が進行中

注力製品（テクポリマー®：ディスプレイ向け中空ナノ粒子）

- ・次世代ディスプレイ（OLED、マイクロLEDなど含む）の画質の高精細化ニーズに応える製品
- ・カラーフィルター層に中空ナノ粒子を添加し、内部から光を拡散させ、ディスプレイの反射を抑える効果を出すことで画質の高精細化に寄与



次世代ディスプレイのデファクトスタンダード化を狙う
FY27～28頃の量産に向け、顧客でのテスト・評価が進行中

開発新製品 (RETONA FOAM® BIO CB)

- ・海洋生分解性を有する酢酸セルロース樹脂のビーズ発泡体

発泡ビーズ



DAICEL

酢酸セルロース

株式会社ダイセル「CAFBRO®」

- 生分解性
- バイオマス
- 抗菌性
- 耐油性



SEKISUIKASEI

ビーズ発泡体

- 軽量・省資源
- 緩衝性
- 断熱・保温性
- 量産性

想定用途

- ・フロートやブイなどの漁具（海洋分解性）
- ・食品包装資材や各種緩衝材（抗菌性）



発泡スチロールの利便性と海洋プラスチック問題の解決を両立する本製品のほか
オープンイノベーションや外部連携を通じて新素材開発を推進中

本業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

内容に関するお問合せは

コーポレート戦略本部 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : ir_pr@sekisui-kasei.com

SEKISUIKASEI[•]

Our Planet. Our Tomorrow.